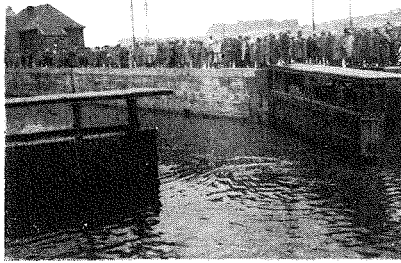
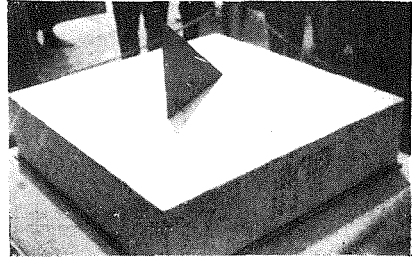


Jinsen Harbor, Best Harbor in Korea, Where Special Gates are Provided for the Dock as Tide Difference is 33 Feet.



(1) The Members of Imperial Railway Society Visiting the Lock Gate of the Jinsen Harbor Dock, May 24th, 1927.
(1) 五月二十四日仁川港船渠出入口のロックゲート視察中の帝國鐵道協會員

仁
川
港



(2) The Monument for the Completion of Lock Gate and Jinsen Harbor Dock.
(2) 仁川港船渠及びロックゲート竣工記念の時計が擔當者永井松太郎技師の名を永久に語る

仁川港視察

仁川に云ふ港は明治になつてからの種々な國際事件の端を發した處であるが、現在は朝鮮第一の商業港である。

帝國鐵道協會員歡迎午餐會の席上で力武嘉

次郎氏は仁川商業會議所を代表して歡迎の辭を述べ、次で仁川港の現状が既に大擴張工事を必要とするに至つた事を述べたが、實際我々も現在の仁川港を見て朝鮮を代表すべき港灣としては餘りに設備の小なるを感じた之は朝鮮の鐵道事業に相待つて俱に擴張しなければ

(3) 仁川港船渠全景

(3) General View of Jinsen Harbor Dock.

干満の差 33 尺もある仁川港は、港の一部に寫眞の如き廣大なる船渠を造り、右に見ゆる堀割を通じて船舶を出入せしめる、此の堀割は兩口にゲートが在つて船舶の出入毎に船渠と渠外との水位を調節して航行に不自由なからしめてゐる。



ばならぬものである。

仁川港内は廣潤にして水深く風波高からず實に天然の良港灣を形成して居るが、潮位干満の差は東洋無比にして、最大33尺に及ぶを以て大船は陸岸に近づくことを得ず、遠く三海里の沖にて荷役を爲さざるべからざるの不便ありしが、大正7年10月二重閘門式船渠の竣成を見るに及びて之れ等の缺點は悉く排除せられ、潮の干満に不拘四六時中間斷なく荷役を爲し得るを以て海陸の連絡頗る圓滑となつた。

閘渠には二重閘門扉を設備し船舶の出入に際し渠内貯水の流出を防ぐ。

(一) 閘門全長	544 尺
同 幅員	60 尺
同 側壁高	48 尺

閘門扉は二箇所にして鐵製雙扉とし	
高さ	40 呎
幅	34 呎
厚さ	4 呎
門扉一葉の重量	107 英噸

外部閘門扉は	
高さ	48 呎
幅	34 呎

厚さ	4 呎
門扉一葉の重量	130 英噸

各閘門扉の開閉は總て電力を使用し其の開閉に要する時間は一分をこす、若し人力を以て開閉せんせば門扉一葉を開くに八人力を以て6分間を要す、而して最近一ヶ年の使用電力は約12600キロワットである。

船渠長さ	250 間
幅	120 間
水深最高	35 尺

船渠内繫船壁は海底より頂上に至る高さ39尺延長250間にして、總噸數4千5百噸の汽船三隻を同時に撃留荷役し得、然れ共現今實際の有利船舶は總噸數1千噸乃至2千噸内外の汽船大部分を占むるを以て一時間に五六隻繫留荷役をなすことを得、船渠使用料は船舶の登簿噸數一噸に付二十四時間毎に二錢の割合を以て前納せしむるものとす。

馴導棧橋 閘門入口に於て漏斗狀馴導棧橋一對を架設し出入船舶の安全を期す。

埋築 埋築地は面積約86000餘坪に及ぶ。

工事 明治44年6月11日起工式を舉げ大正7年10月27日竣功、此工費總額566萬餘圓とす。

(4) 仁川港船渠光景

(4) Another View of the Jinsen Harbor.

干満の差33尺も此の船渠内には何等の影響なく數千噸の汽船が13隻入つてをる而して此の船渠内の岸壁には其等の船舶が横着けされて荷役の状況は特に盛んなものである。

